

## ポー川のひかり (2006)

CENTO CHIODI

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 イタリア

色彩 Color

時間 94分

初公開日 2009/08/01

公開情報 クレストインターナショナル

映倫 G

## 【キャッチコピー】

ある日、  
川をさかのぼって  
キリストさんがやってきた。  
そして廃屋で  
村人に語り始める一。

## 【解説】

「木靴の樹」の名匠エルマンノ・オルミ監督が、自身最後の長編劇映画と位置づけて撮り上げた人生ドラマ。ある日突然過去を捨て、ポー川のほとりの廃屋に暮らし始めた若き哲学教授が、質素な生活と素朴な村人との交流を通して再生していく姿を牧歌的な美しい風景をバックに寓話的に描き、人生と心の豊かさについて改めて観る者に問いを投げかけていく。

イタリア、ボローニャ大学。ある日、大量の古文書が太い釘で磔刑のように打ち抜かれているのが発見され、学内はこの貴重な書物の大虐殺に騒然となる。やがて将来を嘱望されていた哲学科の主任教授が容疑者として浮かび上がる。当の教授は、流浪のすえに大河ポー川へと辿り着き、そこで車のキーや財布を投げ捨て、わずかな所持品だけを手に、川岸の朽ちかけた小屋に住み着く。ほどなく、郵便配達青年やパン屋の娘ゼリンダと知り合い打ち解けていく。さらに、小屋の修理に取り掛かった教授に、近所に暮らす老人たちも興味を持ち始める。やがて彼らは、その風貌から教授を“キリストさん”と呼び温かく迎え入れ、教授の顔にも明るさが戻っていくのだったが…。

## 【クレジット】

|       |              |                    |
|-------|--------------|--------------------|
| 監督    | エルマンノ・オルミ    | Ermanno Olmi       |
| 製作    | ロベルト・チクット    | Roberto Cicutto    |
|       | ルイジ・ムジーニ     | Luigi Musini       |
| 製作総指揮 | エリザベッタ・オルミ   | Elisabetta Olmi    |
| 脚本    | エルマンノ・オルミ    | Ermanno Olmi       |
| 撮影    | ファビオ・オルミ     | Fabio Olmi         |
| 音楽    | ファビオ・ヴァッキ    | Fabio Vacchi       |
| 出演    | ラズ・デガン       | Raz Degan 教授       |
|       | ルーナ・ベンダンディ   | Luna Bendandi ゼリンダ |
|       | アミナ・シエド      | Amina Syed 女子学生    |
|       | ミケーレ・ザッタラ    | Michele Zattara 司教 |
|       | ダミアーノ・スカイーニ  | Damiano Scaini     |
|       | フランコ・アンドレアーニ | Franco Andreani    |

